

毎日新聞寄附講座 08 年度春季「ジャーナリズムの現在 I」

テーマ：国際報道を考える

第 2 回 中国報道

2008 年 4 月 22 日

毎日新聞東京本社外信部

飯田 和郎 (いいだ・かずお)

kazuomida@nifty.com

1) 経歴

1991 年 4 月 東京本社外信部
95 年 4 月 北京支局
2000 年 4 月 東京本社外信部デスク
02 年 4 月 台北支局
05 年 4 月 中国総局 (北京支局)
07 年 4 月 東京本社外信部デスク

2) 中国での取材活動の特殊性

- ・当局は外国人特派員をどう見る？
- ・当局の発表をどこまで信用してよいのか？
- ・「当局発表以外の情報」とのアクセスは？ その危険性は？
- ・妨害行為はあるのか？
- ・記者活動のワナ

3) 日本メディアは中国をどう見るか、欧米メディアはどう見るか？

- ・着眼点の相違

4)中国メディアの今

- ・「報道の自由」と「報道規制」
- ・群雄割拠の乱売
- ・個々の記者の想いは？

5)チベット暴動と聖火リレー

- ・チベット問題と世界的反響
- ・ダライ・ラマ 14 世の役割と欧米メディア
- ・「暴動」か「騒乱」か
- ・「暴動」の背景とマスコミ論調
- ・カルフル不買運動
- ・長野聖火リレーの展望 その後

6)今後の日中関係

- ・胡錦濤訪日の意味するもの
- ・歴史認識問題は消えたのか？
- ・「反日」の炎は再燃するのか？
- ・日本メディアとしての役割は？

以上